

平成19年度経営計画

1. 業務環境

1) 石川県の景気動向

石川県内の経済情勢をみると、主力の電気機械は一部に一服感がみられるものの、一般機械は旺盛な海外需要等を背景に好調に推移しており、設備投資についても製造業を中心とした地元企業が高水準であった前年をさらに2割方上回る増加を見込んでいます。

また、個人消費は全体として持ち直しており、雇用・所得面も引き続き改善傾向を辿っているなど、県内景況は総じて着実に回復を続けています。

2) 中小企業を取り巻く環境

県内中小企業の経営環境は、総じて改善傾向にあるものの、業種・地域・企業間にばらつきが散見されているほか、ここ数年減少していた企業倒産も前年は増加に転じるなど、中小企業を取り巻く環境は未だ楽観できない状況が続くものと予想されます。

また、県内の金融情勢は、製造業を中心とした一部の業種については、設備資金需要に増加がみられるものの、全体的な資金需要には依然として乏しい状況が窺え、今後も中小企業の動向に注視していく必要があります。

2. 業務運営方針

石川県信用保証協会は、やる気と能力のある中小企業の多様化するニーズに迅速・的確に対応していくために、各種政策保証や不動産や保証人に過度に依存しない保証の推進、関係機関との連携による経営・再生支援体制の充実強化に取り組めます。増加する求償権については、サービサーの活用などにより効率化を図り、回収の最大化に努めます。

また、金融機関との適切な責任共有制度の円滑な実施のため、コンピュータシステムの迅速な構築と信頼性の確保に努めます。一方、制度改革による中小企業や金融機関に対する影響度合いについての実態把握にも取り組めます。

さらに、公的な保証機関として、コンプライアンス態勢の更なる充実強化を目指すとともに、コンピュータシステムの共同化グループへの参画や「選択と集中」による業務の合理化・効率化を図り、中小企業への多面的サービスを提供することにより、地域経済の発展に貢献する「親しみやすく、顔の見える、頼りになる協会像」を実現します。

1) 保証制度の多様化・柔軟化への対応

やる気と能力のある中小企業のニーズに対応した商品開発に取り組むとともに、不動産や保証人に過度に依存しない保証推進を図ります。特に「特定社債保証制度」、在庫や売掛債権等流動資産を担保とした「流動資産担保保証制度」に積極的に取り組めます。

2) セーフティネット保証の推進

取引先の倒産、金融機関との取引支障、災害、売上減少などにより経営の安定に支障を生じている中小企業者に対し、引き続き積極的かつ弾力的な対応に努めるとともに、経営相談等の取組みをさらに充実します。

3) 経営支援・再生支援の充実

経営診断システム(MSS)の支援ツールを積極的に活用し、適切な経営アドバイスを行うとともに、石川県中小企業再生支援協議会及び関係機関との連携を密にし、経営支援・再生支援の強化を推し進めます。

また、創業保証の保証対象を、廃業経験を有する者にも拡大した「再挑戦支援保証制度」にも積極的に取り組みます。

4) 利便性の向上

平成19年4月からの保証申込関係書式の全国統一書式の導入に伴い、保証事務手続きのスムーズな運営に支障とならないよう事務処理体制の確立に努めます。また、中小企業へのプラスワンサービスとして保証協会団体信用生命保険制度の周知徹底に努めます。

さらに、金融機関との連携、情報の共有化を推進し、選択と集中による保証審査の一層の効率化と迅速化を図るなど、中小企業者へのサービス向上に努めます。

5) 目利き審査能力の向上

多様化する各種保証制度に対応し、審査能力の向上を図るため、各種研修会への参加、OJTなどを通じやる気と能力のある中小企業の資質発掘や将来性を的確に評価できる職員を養成します。

3. 保証承諾等の見通し

平成19年度の保証承諾等の主要業務数値(見通し)は、以下の通りです。

項 目	金 額
保 証 承 諾	145,375百万円
保 証 債 務 残 高	415,513百万円
代 位 弁 済	9,067百万円
回 収	2,650百万円